

経営資源／重点課題		平成22年度の取り組み状況
人・物の力の向上	①人材育成	職員としての質の向上 住民とのコミュニケーション研修、クレーム対応研修に職員を派遣し、住民満足度の向上を図りました。
	②市民協働の推進	C S O (市民社会組織) の支援・活動促進とネットワークの構築 C S O の支援と活動の活性化を図るため、平成23年4月から「男女参画・市民活動推進係」を設置しました。
モノ・しくみの充実	③行政運営の充実 (1) 行政組織、職員配置の見直し (2) 事務事業の見直し (3) 市民に役立つ市役所づくりの推進 (4) 議会の充実支援 (5) 監査制度の充実	関連業務部門の統括 改善や充実すべき業務部門の見直しを検討し、平成23年4月に新課の設置と部制の廃止等を行いました。 税、料金の納付手段拡大の検討 コンビニエンスストアにおいて税の納付が出来る準備作業を行い、平成23年4月からコンビニでの納付を実施しています。
	④事務事業評価と経営資源配分の最適化 ⑤指定管理者制度の導入、外郭団体の改革推進	事務事業評価システムの構築 評価制度導入に向け研修会に参加し、平成23年度からの試行を目指して制度の構築を図っています。 指定管理者制度の推進 平成23年度から西溪公園と中央公園に指定管理者制度を導入することを決定しました。
財源の確保と向上	⑥財政基盤の確立 (1) 自主財源の確保 (2) 歳出の見直し (3) 定員管理及び給与の適正化	保育料徴収率向上の取り組み 保育園へ保育料納入指導の一部委託や緊急雇用創出事業を活用した徴収事務の強化を行いました。
	⑦公営企業の経営健全化	上水道・簡易水道の統合 上水道と簡易水道を統合し、水道会計の一本化を実施しました。
情報発信と活用	⑧電子自治体の推進 (1) システムの再構築と品質管理 (2) 情報セキュリティの確保 (3) I C T のさらなる活用	情報セキュリティの確保 情報の適切な利用や情報漏えいの防止を図るため、内部監査を実施し、多久市情報セキュリティポリシーの周知徹底を図りました。
	⑨情報公開・広報広聴の推進	情報公開の推進と広報メディアの活用 ホームページの内容の充実を図り、アクセス数の向上を目指しています。

*推進体制は？

本部長を市長とし、職員で構成する「行財政改善推進本部会」とその下部組織である「行財政改善推進本部幹事会」で改革の内容やその進捗状況について議論し、民間の有識者や公募の市民等で構成される「行財政改善協議会」において意見を聴きながら改革を推進します。

《多久市行財政改善協議会の公募委員を決定しました》

今回、多久市行財政改善協議会に欠員が生じたので、公募により委員を募集したところ、複数の応募をいただきました。選考により次の方を委員に決定しましたので、ご紹介します。

渡邊 一馬さん(東多久町)

■問い合わせ

総合政策課 企画係

☎ 75-2116

